

『三国志』との出会い

社会科 武智裕之

「ああ、こんな吉日はない。実に愉快だ。再び天にいう。われらここにあるの三名。同年同月同日に生まるるを希^{ねが}わず、願わくば同年同月同日に死なん。」これは、吉川英治先生の名著『三国志』で、主人公の劉備・関羽・張飛の三人が義兄弟の契りを交わす「桃園の誓い」の一節です。中国の後漢末期、黄巾の乱が広がる中で出会った三人が、「生まれた日が違っても構わない、せめて死ぬときは同じ日でありたい」と、命をかけた友情と忠義を交わす名台詞です。

私が『三国志』と出会ったのは、中学1年生の夏ごろでした。ある日、読書の時間が設けられましたが、本を忘れ担任の武田先生に借りることにしました。渡された本が分厚く、私はうろたえながらも嫌だと言えずに読み始めました。「後漢の建寧元年のころ。今から約1780年前のことである。一人の旅人があった…」歴史に関する本なのかと納得しながら読み進めると、次第に情景が頭に浮かんできました。まるで、爽やかな面立ちの劉備が、精悍な関羽、豪快に笑う張飛を連れて目の前を歩いている気がしてなりません。「桃園の誓い」をこの目で見えていたような、不思議な感覚に陥りました。見たことのない熟語や表現がたびたび出てくるこの本で、これほどまでに想像がかき立てられることに、私は驚きました。おそらくそれは、丁寧に心情や情景を描写した、吉川英治先生の記事のなせる業なのでしょう。私は『三国志』にのめりこみ、暇があれば武田先生から借りて読み続けました。中学1年生で三巻まで読み終え、担任が変わった中学2年生からは、小遣いを貯めて四巻以降を買い、読み進めました。そして中学3年生の時、ついに最後の八巻を読破しました。長編の小説を読み切る、初めての経験でした。

その後、私は『三国志』の登場人物や出来事について解説した本を読むことに没頭します。すると、衝撃的なことが分かりました。私が感動し、ありありと情景が浮かんだ「桃園の誓い」が、実は劉備ら三人の団結を分かりやすく表すためのフィクションだと解説されているのです。そもそも三国志は、3世紀末期の中国（三国時代）で、役人の陳寿が史実に基づき記した「三国志」と、16世紀ごろ（明の時代）に様々な脚色を加えて物語性を高め記された「三国志演義」とがあり、「桃園の誓い」はその後者にしか出てこないそうです。私は驚きつつ、歴史が何百年とかけて物語へと昇華していった、その変化に面白さを感じました。

そして、気が付けば今、私は中国を含めた世界の歴史を教えています。改めて思うと、『三国志』を読んだ時から私は歴史の物語性に惹かれ、その面白さを伝えたいという気持ちが、歴史の教員への道を開いたような気がします。今では『三国志』の具体的な内容はうろ覚えになってしまいましたが、この本との出会い、この本を渡してくれた武田先生に感謝しながら、歴史の面白さを伝えられるように努力したいと思います。

※ 『三国志』の本は、本校にもたくさんあります。

校内読書標語 最優秀作品（同票でしたので、2作品あります。）

- 図書館は 物語の花が咲く 本の庭 (4-3)
○ ページを開く 扉が開く きっと明日の世界が変わる (6-2)

先日、読書標語を募集し、皆さんに出していただきました。図書委員による投票の結果、上記の2作品が最優秀に選ばれました。また、優秀作品は、下記の2点(同票)です。標語を考えていただいた皆さん、どうもありがとうございました。(各クラスの代表作品は、図書館に掲示していますので、ご覧ください。)また、選ばれた4人の皆さんには、ミニ賞状と図書委員お手製のしおりをプレゼントします。

- 人の世界に ちょっとお邪魔～ (5-4)
○ 秋風感じ 本をたしなむ 大人風 (6-1)

～11月購入予定本の紹介～(●は皆さんから購入希望があった本です。)

- 『二木先生』
 - 『ストロベリームーン』
 - 『さよならジャパウォック』
 - 『イン・ザ・メガチャーチ』
 - 『傷物語』『傾物語』
 - 『2025 大阪・関西・万博 リングがつないだ世界 報道写真集』
 - 『絶縁病棟』『後悔病棟』
 - 『時をかけるゆとり』『風と共にゆとりぬ』
 - 『京都寺町三条のホームズ ex.春霞の夜の夢』
 - 『変な地図』
 - 『火喰い鳥を、喰う』
 - 『「話が面白い人」は何をどう読んでいるのか』
 - 『ハーバード、スタンフォード、オックスフォード科学的に証明されたすごい習慣大百科』
- 夏木志朋 【著】
芥川なお 【著】
伊坂幸太郎 【著】
朝井リョウ 【著】
西尾維新 【著】
読売新聞大阪支社 【編】
垣谷美雨 【著】
朝井リョウ 【著】
望月麻衣 【編】
雨穴 【著】
原浩 【著】
三宅香帆 【著】
堀田秀吾 【著】

クイズ第5弾！（東大ナゾトレ第4集から出題）

□に入るのは温度・明るさ・色のうちどれでしょう？

- 押す ... 子ども
 売る ... 運勢
 つまる ... 退屈
 暮れる ...

ち	お	ら	か	き	て
□	ぼ	う	こ	れ	□
の	う	ば	つ	が	き
は	が	が	か	な	と
だ	ふ	か	わ	を	る
れ	で	を	あ	や	ま

前回の答え【河童が川を流れ、弘法が筆を誤るとき、さて木から落ちるのは誰？ 答え さる(猿)】